学校図書館全体計画　下小岩小学校

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする

学校教育目標

自ら考える子
心豊かな子
たくましい子

本好きな児童が多いが、読書の幅が狭い面もある。調べ学習での図書館利用は増えている。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ねらい

① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身につける。
② 学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
③ 資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・本に親しみ、進んで読もうとする。 ・興味をもったことを資料から調べようとする。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・学校図書館を利用して必要な資料を探すことができる。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・学校図書館を利用し調べたことを根拠に、自分の考えを持つ。
第二学年	・本に親しみ、読書の楽しさを伝えあう。 ・興味をもったことを図書館を利用し調べようとする。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・学校図書館を利用して必要な資料を複数探すことができる。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学校図書館を利用し調べたことを根拠に、自分の考えを表現できる。

具体的な取り組み

〔各教科〕
○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
○ 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
○ 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕
○ 学年に応じた「調べる学習」やその素地を養うための取り組みを行う。
○「ブックトーク」「ビブリオバトル」等による読書の幅を広げさせる。

〔総合的な学習の時間〕
○ 学び方や考え方を身につける。
○ 課題の解決、探究に主体的に取り組む。
○ 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕
○ 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
○ 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔道徳〕
○ 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域との連携〕
○ 読書週間の親子読書への呼びかけ。
○ ボランティアとの連携。

朝読書の推進　推進組織の確立・充実　図書環境の整備・充実